

平成22年度から実験動物系廃棄物の処分方法が変わります

平成22年度から、実験動物系廃棄物の処分を外注化します。これにより、以下のように分別方法を変更いたしますのでご注意ください。なお感染の恐れのあるものはすべて感染物として取り扱い、専用プラスチック容器に収容し排出して下さい。

実験系廃棄物 分類		排出様式		収集日・場所	備考
感染性廃棄物	→	 プラスチック容器 (20・80L)	→	火・金 生物資源部門棟前	容器は、附属病院中央倉庫又は研究棟1階塵芥庫にあります。 (随時持出して下さい)
実験動物及び その臓器等	→	灰色の ビニル袋	→	火・金 生物資源部門棟前	生物資源部門棟前に設置されている車両にあるプラスチック容器に適宜入れて下さい。 ※)ビニル袋は附属病院中央倉庫又は研究棟1階塵芥庫にあります。 (随時持出して下さい)
床敷き・容器等の可燃物※	→	“可燃ゴミ”の ビニル袋	→	平日 各集積場所	大学内の分類に従い排出願います。 床敷き等は、内容物が漏出しないようご注意ください。
その他不燃物	→	透明 “可燃ゴミ”の ビニル袋	→	平日 各集積場所	大学内の分類に従い排出願います。

※)動物を梱包した容器は糞尿等で汚れていることが多いため可燃ゴミとして廃棄して下さい。
(折り畳むなど小さくし減容化にご協力下さい)